

第4回南アルプス市まち・ひと・しごと創生審議会 議事録

日 時:令和7年1月24日(金)午後2時00分～

場 所:新館地階 第1会議室

出席者:12 名

欠席者:10 名

事務局:(依田総合政策部長、深澤政策推進課長、他 4 名)

(次 第)

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 部長あいさつ

4. 議 事

① デジタル田園都市国家構想の実現に向けた

第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)について

② 地域ビジョン(目指す姿)

5. 第4回グループワーク

6. そ の 他

7. 閉 会

(配布資料)

【資 料 1】デジタル田園都市国家構想の実現に向けた

第3期南アルプス市まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)

【資 料 2】地域ビジョン(目指す姿)について

【資 料 3】第4回グループワークについて

1. 開 会

司 会：定刻となったので、令和6年度第 4 回南アルプス市まち・ひと・しごと創生審議会を開会する。

2. 会長あいさつ

会 長：年始のお忙しい中、第 4 回南アルプス市まち・ひと・しごと創生審議会にお集まりいただき、感謝申し上げます。本日は、まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)が議題となっている。皆様の立場から様々な視点でのご意見があるかと思われる。本日も忌憚のないご意見をいただきたいと思います。

3. 部長あいさつ

部 長：委員の皆様、本日は公私ともにお忙しい中、第4回審議会にご出席賜り、御礼を申し上げます。前回12月に開催されました審議会においては、各分野における皆様の専門的な知見と積極的なご参加により大変意義深い議論が展開されたと感じている。本日の審議会では、その意見を反映させた総合戦略(素案)を報告させていただく。併せて、地域ビジョン(目指す姿)においても、会長や副会長にご意見を賜り、また市長、副市長へお伺いを立てつつ、一つの案にまとめさせていただいた。第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略は、皆様からいただいたご意見を大きく反映することで、地域の実情に即し、実効性の高い計画となってきた。本審議会も残すところ2回となるため、引き続き忌憚のないご意見を願います。

4. 議 事

司 会：第3期市総合戦略は、非常に重要である。石破首相が掲げている地方創生 2.0 で地方自治体の根幹となるのが地方版総合戦略である。今後5年間は、この戦略に基づき、まち・ひと・しごと創生を戦略的に推進していく。引き続きよろしく願います。それでは、議事に入る。議長は、軽部会長。副議長は、小林副会長に願います。

軽 部 会 長：次第に沿って進める。議題①について、事務局より説明を求める。

事 務 局：①デジタル田園都市国家構想の実現に向けた第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)について(【資料1】に基づき、事務局から説明)

事 務 局：前回の審議会後、1月7日に本部会議を実施した。本部会議は、本部長を市長、副本部長を副市長、構成員を各部長として総合戦略の策定等協議を行うものである。今回の本部会議では、第3期市総合戦略(素案)の説明をさせていただき、各局へ内容の確認を依頼した。今、説明させていただいた素案は、依頼の回答として申し出のあった項目について、加筆修正したものである。

軽 部 会 長：事務局より説明があったことについて、質疑等はあるか。

すぐには意見も出にくいと思われる。皆様に考えていただいている間、私から一点質問させていただく。

現在の戦略は、南アルプス IC 周辺の開発が大きく取り扱われている。非常に大切なことである。一方、南アルプス市はどこよりも早く「子ども子育て応援宣言」をしているため、全市的な取組として追記いただきたいと考えるがいかがか。

事務局：南アルプス IC 周辺の開発については、総合計画とリンクさせ、力を入れていくという方針で追記した。しかし、ご指摘いただいたとおり、本市では子育て支援において「子ども子育て応援宣言」をし、市長公約として掲げている。本審議会の会長に、軽部会長を選出させていただいた点においても子育て支援や教育の充実に力を入れていくためである。ご質問いただいた件に関しては、8P「6 第3期南アルプス市まち・ひと・しごと創生総合戦略の方向性」にて子育て支援に関する記載を強調させるなどが考えられる。内容を検討し、あらためてお示しさせていただく。

軽部会長：国でこども基本法が施行されたことに対し、本市ではどのように取り組まれているか。近年人口増が進んでいるのは子育て支援に力を入れてきたことが大きいと考える。次の教育の充実につなげていくためにも、しっかりとご検討いただきたい。よろしく願います。
それでは、他に質疑等はあるか。

斉藤委員：南アルプス市在住である。4月にコストコが開業するというのを踏まえ、周辺の道路整備や交通対策など具体的に見えてこないように感じる。地域住民にとって現在の交通施策の利便性が阻害されてはならない。もし方針等お示しされているのであればお伺いしたい。

事務局：道路整備や交通対策等に関しては、ご指摘のとおりコストコ開業後の交通対策は懸念されているところである。現在、南アルプス IC の交差点改良など、交通解析等の分析に基づく改良を進めている。また今後においても計画に沿った改良にて利便性の向上を図っていく予定である。

軽部会長：他質疑等はあるか。

飯野委員：14P 産業振興について、本市の基幹産業である農業に関する記載があまり見えてこない。特に国、あるいは県の取り組みが中心で、市独自の取り組みが少ないように感じる。農業を営む方を前提に考えると、どうしても南アルプス IC 周辺の取り組みが主眼に置かれている中、この5年の変化は第1次産業が成り立つかどうかの瀬戸際にあると考える。遊休農地を一から開墾する方はほとんどいない。市が農地として蘇らせるなど戦略的、戦術的に取り組んでいただきたい。企業誘致等の取り組みは、人が増え税収が上がる。理解はできるが、一方、心の豊さを疎かにしてはいけないと思う。市で工夫していただきたい。

事務局：農業は、本市にとって大切な産業であると認識している。工夫という点においては、本市は地域活性化総合特別区域、総合特区という制度の認定を受けている。昨年度は、総合特区を利用してワイン特区としての認定も受けている。しかし、総合特区はワイン特区だけではない。市の様々な課題に対し、多種多様な規制が敷かれている中、総合特区制度を利用することで一定の規制緩和が認められるという制度である。現状、飯野委員からの意見を追記することは難しいと考えるが、総合特区のことは総合計画でも示しているところで、今後も工夫し、活用を検討していく。また、このあとのグループワークでも協議していただくこととなるが、今後必要と考える取り組みは審議会を通して、担当課へ伝え、事業化された際には、あらためて財源確保に向け、審議会の承認を得ることで第3期市総合戦略に追記するという流れになる。そのため、どの計画よりも柔軟かつ実現性が高い計画であるといえる。今の

意見もしっかりと受け止め、第1次産業の発展に向けて検討を進めていきたいと思う。

軽部会長：他質疑等はあるか。

清水委員：企業誘致や産業振興においては、市長と職員の皆様のお力で大分回っているように感じる。子育て支援に関しても、とても素晴らしく、会長がおっしゃるとおり、もっと子育て支援をアピールしてもよい段階まで来ていると思われる。一方、教育の充実に関しては、取組内容が今一つ見えてこないように感じる。やはり優秀な人材は甲府など中心に集まりやすい傾向にあり、高い教育を行っている学校を求める声が多い。取り組みとしては、例えば中堅の私立校の誘致や中高一貫教育を戦略的に実施するなどが考えられる。今後、南アルプス市を目的に移住を検討される方が教育環境に着目し、近隣市町村と比較することも十分考えられるため、そこで南アルプス市は教育のまちとしてもアピールができれば更なる発展へとつながるように思う。

事務局：ありがとうございます。ご指摘いただいた件については、本市の課題として捉えているところである。高校などの教育環境は、簡単に形をかえられるものではないが、アイディアとしては DX や理工系は今後求められる人材と考えており、本市の高校に専攻課程を設けるなどが考えられると思う。清水委員のおっしゃるとおり、専門学校などを誘致することで本市に住み、学び、働く流れをつくることが重要である。まずは出来ることから検討していき、戦略的に着手できる段階に来たら、追記の審議をお願いしたい。

軽部会長：他質疑等はあるか。それでは議題①は以上とする。

続いて、議題②について事務局より説明を求める。

事務局：②地域ビジョン(目指す姿)について(【資料2】に基づき、事務局から説明)

軽部会長：事務局より説明があったことについて、質疑等はあるか。

皆様より承認いただけたということで、以上ですべての議事は終了となる。

事務局：ありがとうございます。今後5年間は、皆様からいただいた意見をつなげたこのビジョンに基づき推進をさせていただく。

5. 第4回グループワーク

司会：第4回グループワークについて、事務局より説明を求める。

事務局：(【資料3】に基づき、事務局から説明。)

6. その他

司会：6. その他として、意見はあるか。

事務局：次回の審議会は、3月3日(月)14時を予定している。

今回の審議会で第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)として、概ね承認いただくことができた。次回が最後の審議会となるが、それまでに再度本部会議を実施し、庁内へ図らせていただく予定である。本日いただいた意見と併せて、修正した箇所については、あらためて皆様へ提示させていただく。なお、次回の審議会では、市長にお越しいただき、完成した戦略の案をもって諮問、また後日、会長副会長から市

長へ答申させていただく流れである。

本審議会は、次年度以降も続くため、グループワークでいただいた意見のように今後も忌憚のないご意見をいただければ、我々が積極的に検討していくので、引き続き、ご協力をお願いします。

7. 閉 会

小林副会長：長時間にわたり協議にご協力いただき、感謝申し上げます。

これまで素案に対して、多くの意見をいただくことで、ようやく案をお示しできるところまできた。最後までご協力をお願いします。また、本日グループワークで協議した内容については第3期市総合戦略を進めていく上で参考にいただければと思う。本日は、これで閉会とする。

以上